

# はしど

平成30年 6月29日  
学校だより 第4号  
練馬区立橋戸小学校  
校長 青木俊哉  
<http://www.hashido-e.nerima-ky.ed.jp/>

☆学校教育目標 考える子・思いやりのある子・たくましい子

## 「こころづかい」と「思いやり」

校長 青木 俊 哉

6月最終週の全校朝会では、下田移動教室の様子から、“5分前行動”を合言葉に、時間を意識して行動できたこと、行動班や生活班で互いに支え合い、生活していたことなど、6年生の頑張っていたことを話しました。この週の生活目標は、「思いやりをもって行動しよう」でしたので、6年の姿を手本に、全校で「思いやり」を意識し行動していくことを確認しました。

「思いやり」と聞くと頭に浮かぶフレーズがあります。

「こころ」は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える。

「思い」は見えないけれど、「思いやり」は誰にでも見える。

震災後の数年、テレビの画面でよく見かけた AC ジャパンの意見広告です。実はこの言葉、この広告用に用意された言葉ではなく、宮澤章二さんという詩人が中学生向けに書いた詩を、没後にまとめて出版した中にあったものとわかり、驚いたことも覚えています。

宿泊学習では、私は、「自立、挑戦、協力、感謝」という4つのキーワードに思いや願いを託して、話をしています。中でも、自分（達）のことは自分（達）で行う「自立」、仲間の力を合わせ互いに支え合う「協力」、そして関わった人たちや仲間への「感謝」は、子供たちが今後大人に育ち、社会生活を営んでいくために欠かせぬ力、その基盤となるはずです。

下田での4日間に、実際にこんな姿を見かけました。

- ・岬での昼食後、強風に飛ばされた食器やビニール袋などを、すすんで拾い片付けていた。
- ・宿舎のトイレのスリッパの並べ方について朝会で話があった後、見違えるようにきれいに揃えられ、次

の人が履きやすいように整えられた。

- ・最終日のベッド回りの片付け、シーツたたみ等の作業が、ベッドの上下や隣同士で協力して進められた。
- ・集合や整列時の「早くしよう。」「静かに！」等の声かけが次第に上手になり、小さく、短い言葉で済むようになった。

これらは、取りたてて大きな出来事ではなく、見過ごしてしまう程のことかもしれませんが、子供一人一人の視野が広がり、判断力や行動力につながった行為と言えます。自立、協力、感謝の意識、まさに「こころづかい」や「思いやり」につながるものと思います。

最後に、宮澤氏の詩を全文紹介して、話を閉じます。

…あなたの「こころ」はどんなかたちですか  
と ひとに聞かれても答えようがない  
自分にも他人にも「こころ」は見えない  
けれど ほんとうに見えないのであろうか  
確かに「こころ」はだれにも見えない  
けれど「こころづかい」は見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為だから  
同じように胸の中の「思い」は見えない  
けれど「思いやり」はだれにでも見える  
それも 人に対する積極的な行為だから  
あたたかい心が あたたかい行為になり  
やさしい思いが やさしい行為になるとき  
「心」も「思い」も 初めて美しく生きる  
…それは 人が人として生きることだ

宮澤章二 「行為の意味 青春前期のきみたちに」 より